

Ⅲ 市庁舎以外の施設について

市庁舎以外の施設については、以下に掲げる課題および検討事項等の検討や整理を行うとともに、各施設における耐震化の方策や時期等について「網走市公共施設等総合管理計画」の公共施設等マネジメントに関する基本方針に基づき、検討を行います。

1 総合体育館

①規模について

現在のアリーナの利用状況の把握のみならず、将来の利用状況を想定した検討を行います。

また、市内団体等の利用のほか、スポーツ合宿や大会誘致の可能性など総合的な観点からアリーナの規模についての検討を行います。

②整備手法について

全改築もしくは耐震基準を満たしていないアリーナのみ部分改築などの整備手法が考えられます。

現状、管理棟は耐震基準を満たしているため改修の必要はありませんが、将来的には耐用年数が到来するため、今後の対応を考慮しながら、事業費および財政シミュレーションにより合理的な整備手法の検討を行います。

③配置について

現総合体育館は、網走運動公園内に位置しています。アリーナのみ部分改築とする場合は、管理棟と隣接した位置に改築することが前提となります。

全改築とする場合は、網走運動公園内のどの位置に建設するか検討が必要となります。

いずれの場合も、網走運動公園内全体での配置シミュレーションが必要となり、現総合体育館利用者駐車場などの調整が必要となります。

④財源確保について

財源確保のため、活用可能かつ有利な財政措置ならびに採択条件等の確認を行います。

⑤事業手法について

事業手法として、従来発注方式のほか、設計施工一括発注方式（デザインビルド方式等）や民間資金の活用（PFI等）の可能性について、費用対効果等を含め総合的に検討します。

また、広域での整備の可能性についても検証を行います。

⑥現施設の老朽化設備対応について

老朽化した設備等については、現状の機能を最低限維持できる改修や補修により対応しながら、耐震化対策の時期や手法などの検討を行います。

2 市民会館

①規模について

現在の市民会館の利用状況の把握のみならず、将来的な利用ニーズや近隣自治体の施設状況等により、必要なホール規模の検討を行います。

②類似施設との関係について

現規模のホールの必要性やエコーホールでの代替性の検証、エコーセンターとの統合などの検討を行います。

③位置について

規模や類似施設との関係などの検討にあわせ、さまざまなシミュレーションのもと、位置についての検討を行います。

④財源確保について

財源確保のため、活用可能かつ有利な財政措置ならびに採択条件等の確認を行います。

⑤事業手法について

事業手法として、従来発注方式のほか、設計施工一括発注方式（デザインビルド方式等）や民間資金の活用（PFI等）の可能性について、費用対効果等を含め総合的に検討します。

また、広域での整備の可能性についても検証を行います。

⑥現施設の老朽化設備対応について

老朽化した設備等については、現状の機能を最低限維持できる改修や補修により対応しながら、耐震化対策の時期や手法などの検討を行います。

3 消防本部庁舎

①消防広域化の動向について

消防の広域化の推進期限の延長に伴い、北海道や近隣自治体の動向を注視しながら情報収集を行い、今後の方向性等を見定める必要があります。

②用地確保について

現敷地が狭小のため、現在地での増改築は困難であることから、用地確保についての検討を行います。

また、現消防署機能を維持するための位置についても検討を行います。

③本部機能について

消防広域化の動向にもよりますが、本部の設置位置や機能移転についての検討を行います。

④財源確保について

財源確保のため、活用可能かつ有利な財政措置ならびに採択条件等の確認を行います。

⑤大空町との協議について

一部事務組合を組織している大空町と、耐震化対策方法や対応時期、費用負担等について、方向性を協議する必要があります。